

JA松任青年部

YOUTH SITE



## JA松任農業祭 2017

（執行部）

10月21日（土）、JA松任本店特設会場において開催されたJA松任農業祭で、もちつき、ポン菓子、スタンプラリー大会、看板コンクール、写真コンテスト等を開催し、各支部・地区の盟友が参加しました。

「もちつき」、「ポン菓子」の配布には、例年同様今年も長蛇の列ができ、「あと何分までできる?」との声がよく聞かれました。また、ポン菓子配布の際にあわせて看板コンクール・写真コンテストの投票用紙をお渡したことで、大変多くの方に投票して頂くことができました。また、ステージ上では執行部による餅つきのパフォーマンスも行われ、竹山組合長にも餅をついてもらい、会場を賑わ



せました。スタンプラリー大会も大好評で、参加用紙は配布開始早々に無くなつてしまい、用紙回収が始まったころには大当たりの鐘の音が響き渡りました。

今年は参加盟友も少ないことや、ポン菓子機の調子が悪くなるハプニングも発生し、来場者の方には何かとお待たせしてしまつこともありましたが、青年部盟友が協力しあつたことで農業祭を終えることができました。

## 石川の農林漁業まつりに参加

（中央支部）



我々、中央支部青年部は10月15日（日）に、石川県産業展示館4号館で開催された「第39回石川の農林漁業まつり」にもちつき実演・無料配布のブースで参加させていただきました。

当日は約20名の盟友に参加していただき、午前9時のオープンから午後3時まで、約1時間ごとにもちつきを実演してご来場者に提供させていただきました。

最初の方はもち米を蒸す蒸気が出るまでに思いのほか時間がかかり、午前10時の提供時間まで間に合つか心配していました。ですが、ある程度時間が経過すると無事に蒸しあがり、最初のもちつきに間に合わせることでできました。配布前になると長い列ができ、その後はお客様が途絶えることなく、大盛況となりました。

来場者の多くは家族連れで来場しており、もちつきを体験したことがない子供には、盟友が杵を一緒に持つて支えてあげながらもちつきを体験していただき、来場者親子はとても喜んでおられました。

今後中央支部青年部は地域活動に積極的に参加させていただき、農業を身近に感じてもらえる活動をしていきたいです。



## 【うまいもん市】

10月22日（日）、今年は松南支店感謝祭と併せてうまいもん市を行うこととなりました。

当日は朝から雨風が強く、とても心配だったのですが、支店感謝祭も行われていたからか、お客さんの数は例年以上で、用意していた野菜もほとんど売り切れという嬉しい結果となりました。今回は天候に恵まれなかったため、いつもより運営が厳しかった面もありましたが、盟友同士が協力し、うまく連携がとれたおかげでなんとかやりきることができ、たくさんのお客さんに喜んで貰えた実感がありました。



来年は今年以上に有意義なうまいもん市にできるように、盟友一同頑張っていきたいと思えます。



（林中区青年部）

## 【食と緑の郷づくり（子供達の収穫体験）】

（山島地区青年部）

10月8日（日）、山島公民館とのタイアップ事業の一つ、『食と緑の郷づくり・収穫体験』を開催しました。地元の子供と、青年部や関係機関の大人達も含め、総勢80名を超える参加となりました。



当日は晴天に恵まれ、子供達は泥だらけで頑張ってくれました。まずは、春に植えた四和もちの稲刈り体験をしてもらいました。鎌で稲を刈ってもらったのですが、最初はぎこちなかった子供達もだんだん慣れてきて、どんどん稲を刈っていました。友達や親と協力する子、競争する子、と様々でしたが、みんなとても楽しそうでした。大人達は鎌を持った子供達に少しドキドキでしたが、誰も怪我をすることなく本当に見事な稲刈りでした。

次に畑に移動し、同じく春に植えたサツマイモ掘りに挑戦してもらいました。青年部の盟友が少し掘り起こして顔をのぞかせたサツマイモを子供達が上手に掘り出して行くのですが、イモの成長が良く、とても大きなイモが多かったので、掘り出す子供達の苦労も喜びも、非常に大きなものとなりました。又、イモの大きさと出てくる虫やミミズ達に、あちこちから子供達の歓声（悲鳴!?）が湧きおこるイモ掘り体験でした。

最後は自分達で掘ったイモをお土産に持って帰ってもらいました。今後子供達と地域の大人が一緒に農業にふれあえる貴重な場を継続、発展させていきます。

